

都市再生整備計画(第8回変更)

すざかちゅうおうちく
須坂中央地区

ながのけん すざかし
長野県 須坂市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	須坂市	地区名	須坂中央地区	面積	446 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

豊かな自然と歴史的遺産を活かした賑わいやふれあいのある交流、観光のまちづくりを図る。

防災面において地域の防災性・安全性の向上を図る。

地域の交流と活動で支えあうまちづくりを図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

須坂市には、江戸時代後期から昭和初期にかけて建てられた土蔵造りの町屋がある。特に明治から大正にかけては、器械製糸業が隆盛を誇り、今日残る町屋や蔵蔵の豪壮な造りは、この時代を偲ばせる建築物である。町屋以外では、須坂藩時代の武家の旧宅、明治・大正時代の洋風建築、江戸時代の神社・寺院も残っている。建物の基礎部分には、「ぼたもち石積」という、大玉の野面積みの基礎がすさまく積み上げられ、重厚な印象を与えている。

土蔵造りの町屋は、昭和60年4月からローカル新聞に100回にわたり連載され、広く市民に知られるようになった。昭和61年11月には歴史的な町並みの保存を目的とする「信州須坂町並みの会」が市民有志により結成され、町並みフェスティバル・建築相談・町並み景観賞(周辺の環境に配慮した建物)の実施による町並み保存活動が行われている。この運動や事業により、傷みの激しかった蔵造りの建物が美しく修理されたり、新築の家屋が伝統的な蔵づくりを模して造られるなど、町並み景観が徐々に整えられるようになった。また、歴史的建築物を所有している地域住民からも、地域の景観を整備するためまちづくり協定を締結するなど、15地区でまちづくり推進協議会をつくり積極的に事業に協力している。

市においては、重要な文化遺産である蔵造りの建物や町並みを後世に残そうと、平成5年度から須坂地区の歴史的町並みを保存するために、歴史的景観保存対策事業補助金交付要綱を創設し、建造物の修理・修景に取り組んでいる。また、平成7年度からはまちづくり要綱を制定し、国庫補助金事業の街並み環境整備事業を導入している。これは平成元年の「須坂の歴史的町並み」調査で明らかになった、市内中心部に残る347戸の歴史的建造物の外観の修理、新築の建築物や工作物を周囲の景観に調和させる修景事業に補助を行う制度として、平成5年度から平成16年度までの12年間で、193件に対し補助を行っている。その結果、蔵造りの建物が多くある国道406号沿いの中央通り・銀座通りにおいては、35%以上の修景率となっている。

しかしながら、この地区は人口の空洞化が進み、それに伴う経済活動の衰退により空き店舗が増加するなど、地域活性化による新たなまちづくりが求められている。

歴史的な発展過程から、街道としての道筋や伝統的な町並みの面影などを歴史的資源として残す反面、狭隘で未整備な小路が残っていたり、木造家の老朽化が進み防災上も大きな問題も併せ持っています。市街地における幹線道路が不足することに起因する交通渋滞、都市防災機能の低下等を防ぐため、国道406号と国道403号を結ぶ中環状道路の整備が求められている。また、昭和40年の松代群発地震、昭和56年台風15号災害、平成16年の新潟中越地震を経験してきたが、災害発生時に避難場所となる市民体育館(昭和42年建築)、臥竜山公会堂(昭和53年建築)の耐震診断・設計・改修工事は行なわれていない。また、防災計画の見直しにより公共施設である公民館(昭和50年建築)、南部地域公民館(昭和54年建築)、保健センター(昭和56年建築)を避難所とする。

臥竜公園は桜の名所として知られ、取分け山のふもとの竜ヶ池に映える桜の風情は格別です。日本のさくらの名所100選にも選ばれております。竜ヶ池のほとりには、市立博物館・臥竜山公会堂が建っており、公園内には動物園(昭和37年建設)・遊園地・水族館があり、公園周辺には野球場等の各種スポーツ施設、百々川沿いの緑地公園が整備され誰もが楽しめる市民の憩いの場になっています。

課題

豊富に眠っている歴史的・文化的な遺産は次第に荒廃しており、一部には消失しかけているものもあり、保存修復して、地域の個性化と活性化を図る必要がある。

クラシック美術館・笠鉢会館は誘客に大きな役割を果たしているものの、地場の産業資源や多くの歴史・文化資源は、地域の活性化、更には中心市街地活性化に活かされていない。

まゆぐら・しらふじ・上高井郡役所などの蔵造りの建物(豊富な観光資源)が点在していることから、それらの整備やイベント等の内容を発信する観光地のネットワーク拠点である地区的観光拠点の整備が必要である。また、街中へ人を誘導する仕掛けも必要である。

新潟中越地震の教訓から、防災への備えが求められているが、公共施設の耐震対策は遅れている。

都市公園の臥竜公園には動物とのふれあい、自然・人とふれあえる広場の要望が強い。

将来ビジョン(中長期)

歴史的資源の保全・活用をしながら、まちの魅力を高め、賑わい・活力のあるまちづくりを進めていく。

中心市街地の面的な整備と、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。

新潟中越地震を経験し、その貴重な教訓を活かした災害に強いまちづくりに取り組む必要がある。

臥竜公園及び百々川緑地を中心として、大人に潤いと活力を、こども達に夢を与え、健康で心豊かな市民生活を築く。

幹線道路の整備により交通渋滞の緩和、都市防災機能の向上を図りたい。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交流人口	人／年	まゆぐら(現 交流施設)の利用者数	施設を整備することにより交流人口を増やし、町中の賑わいを創出する	8,500	H16	9,800	H22
空き店舗活用	店	地区内の空き店舗の数	賑わいを再生するため空き店舗の活用を図り、既存空き店舗の減少を図る	33	H16	25	H22
町並みフェス	人／年	魅力あるイベントを通して交流促進と賑わいを演出する	同時開催するクラシック美術館・笠鉢会館は無料開放される来訪者数を指標とする	1,699	H16	2,000	H22
来街者数	人／年	臥竜公園内の動物園の有料入館者数	臥竜公園内の動物園の有料入館者数	50,503	H16	60,000	H22
避難所・避難場所	所	市内の避難所・避難場所の数	避難所の耐震化及び避難場所となる避難空間の確保を行い、地域の防災・安全性の向上を図る	25	H16	31	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>豊かな自然と歴史的遺産を活かした賑わいやふれあいのある交流・文化・観光のまちづくりを図る。</p> <p>歴史景観が保たれる旧谷街道の入り口に位置する既存建物牧勇男邸を利用して情報発信機能・発表・展示・地場の製品・作品を一同に販売できるスペースを備えた観光交流センターとして整備し、中心市街地に新たな賑わいの場と住民の憩いの場をつくり、来街者と住民との交流の場を創出する。なお、既存建物の一部が老朽化等により耐震補強が困難なことから除却し、その跡地を含め、隣接地をポケットパークとして整備し、中心市街地の回遊性を高める。</p> <p>蔵造りの建物が多く残る市道銀座通り線（旧国道406号）を石畳風アスファルト舗装とし、修景事業により整備の進む周囲の景観との調和を図り、新たな賑わいの場として中心市街地の集客性を高める。</p> <p>旧上高井郡役所は大正期のパラック建築様式をもつ洋風木造建築である。市では製糸で栄えた中心市街地の蔵の町並みを学生の教材で活用し、地域の活性化につなげようと、大学のサテライトキャンパスとして、実習や講演の場所に利用、市民向けに大学の公開講座や研究発表として利用したり、須坂藩、製糸、鉱山等の産業遺産等に関する研修する場所として、学生、研究者、市民まちづくり団体、歴史的研究者等が常時利用する施設にしていく。併せて観光客が蔵の町並み散策の中で立ち寄れる観光スポットとして利用。また、市民団体による市民ギャラリー、講演会、コンサート等地域交流センターとして利用する。また、18年度に施設整備が完了するため、第2期工事として外構工事を行い、大正期の歴史遺産にふさわしい景観とする。</p> <p>来訪者が散策しやすいように情報板を整備する。</p> <p>市民憩いの場である臥竜公園（29ha）内の1.2haを多目的広場として整備する。</p>	<p>道路（基幹事業／市道銀座通り線道路整備工事） 公園（基幹事業／臥竜公園） 地域生活基盤施設（基幹事業／小公園整備） （基幹事業／情報板） 既存建築物活用事業（基幹事業／提案事業／観光交流センター） （基幹事業／提案事業／地域交流センター） 地域創造支援事業（旧上高井郡役所第2期工事）</p>
<p>防災面において地域の防災性・安全性の向上を図る。</p> <p>1847年（弘化4年）の善光寺地震、昭和40年の松代群発地震、平成16年の新潟県中越地震を経験してきたが、防災発生時に避難所となる市民体育館（昭和42年建築）と臥竜山公会堂（昭和53年建築）の耐震診断、設計、監理、改修工事を行う。また、市民体育館に隣接する市民プール跡地を多目的広場として整備を行い、災害時には避難空間として活用を図る。</p> <p>災害対策本部となる市役所本庁舎の耐震設計、監理、改修工事を行い、情報収集指令伝達の基地として整備を行う。</p> <p>本年町別の地域防災マップを作成したが、「避難所が遠いので近くにして欲しい」「千曲川の堤防決壊時の湛水する小学校2校が避難所に指定されているのはおかしい」等の意見が出された。市では避難所の見直しと公民館、南部地域公民館、保健センターを新たに避難所として耐震診断、設計、監理、改修工事を行う。また、市役所西館跡地を多目的広場として整備を行い、災害時には避難空間として活用を図る。</p> <p>市内4高校に避難所標識を設置して、災害時の目印とする。</p> <p>災害時や通学時の避難路や通学路の歩道の確保として、相森中学校付近の一級市道須坂駅旭ヶ丘線に架かる小河原橋（八木沢川）及び同路線で歩道未整備となっている区間に歩道を設置する。また、同様に墨坂中学校付近の市道高梨小山線で歩道未整備となっている区間に歩道を設置する。</p> <p>市街地の幹線道路を整備し交通渋滞や物流の流れを良くするとともに避難路の確保を図る。</p> <p>一級市道須坂駅南原線、一級市道高甫南原線は歩道がマウンドアップ型で段差があり、障害者の車イスや高齢者の車イス等は走りづらい。歩道をフルバリアント型にすることにより、歩行者の安全を図りたい。</p> <p>順次公共施設の耐震改修を進めており、須坂小学校の校舎の耐震診断は終わっているが、今回耐震設計を計上しこども達の安全を確保する。</p>	<p>道路（基幹事業／小河原橋（八木沢川）歩道設置工事） （基幹事業／一級市道須坂駅旭ヶ丘線歩道設置工事） （基幹事業／一級市道高甫南原線歩道段差解消工事） （基幹事業／一級市道須坂駅南原線歩道段差解消工事） （幹事業／一級市道八幡南原線交差点改良工事） （基幹事業／市道高梨小山線歩道設置工事） 街路（基幹事業）／（都）3・4・8号臥竜線街路整備事業 地域生活基盤施設（基幹事業／市民体育館） （基幹事業／臥竜山公会堂） （基幹事業／多目的（防災）広場整備工事（市役所西、市民体育館南）） （基幹事業／公民館） （基幹事業／南部地域公民館） 地域創造支援事業（提案事業／市役所本庁舎耐震設計管理・工事／） （提案事業／市民体育館耐震診断） （提案事業／臥竜山公会堂耐震診断） （提案事業／公民館耐震診断） （提案事業／南部地域公民館耐震診断） （提案事業／保健センター耐震診断） （提案事業／須坂小学校耐震診断）</p>
<p>地域の交流と活動で支えあうまちづくりを図る。</p> <p>総合公園の臥竜公園はボランティアによる清掃活動や植樹等が行われ市民の森となっている。また、「桜守りの会」による桜の樹勢回復や「日本のさくらの名所100選」に選ばれておりボランティアや街来者的安全を図るために竜ヶ池への転落防止柵を設置したい。</p> <p>市営動物園の運営に参画しているサポート（ボランティア約30名）の交流拠点とするため動物園交流施設を設置し動物を通して交流を図りたい。</p> <p>須坂市文化会館は市民が文化的な生活を営むための施設として平成3年11月に開館して以来利用され、「メセナホール」として親しまれている。市民の文化欲求度は高い「信州須坂岩波講座」を毎年行い、「メセナ友の会」「メセナジュニアオーケストラ」等の市民団体や市民の文化交流の場として広く利用されている。ホールの音響機器等は以前のアナログタイプで、現在主流となっているデジタルタイプに更新することにより利用者ニーズに対応したい。多世代、広域、地区内の文化振興と住民コミュニティの交流を図っていきたい。</p>	<p>公園（基幹事業／竜ヶ池転落防護柵） 地域創造支援事業（提案事業／動物園交流施設） （提案事業／文化会館）</p>

その他

継続的なまちづくり

- 須坂市には、地区内のまちづくり推進協議会（15地区）と地区外の景観形成推進委員会（3地区）の合計18地区があり、景観だより・町並みだより・町並み講演会・先進地視察などの活動のほか、地区内のまちづくり推進協議会の構成団体である、蔵の町中央通りまちづくり推進協議会、寺町・大門通りまちづくり推進協議会では、市からの委託により「ふれあい館まゆぐら」、「ふれあい館しらふじ」の管理・運営を行っており、本事業終了後も活動が継続する見通しです。
- さらに地域商工業の活性化やまちおこしなどを目的に、さまざまな地域振興事業を展開している特定非営利活動団体（NPO法人）「NEXT須坂」は、町並みガイド事業、地域が持つ有形無形の資源を全国に紹介及び保存活用する事業、地域文化の発表・展示事業、空き店舗活用による中心市街地活性化事業、地域の物産・特産品の販売を促進する事業などを掲げて、情報の発信やイベントの開催などさらに活発な活動を展開する予定です。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,955.2	交付限度額	800.2	国費率	0.409
---------	---------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	道路	小河原橋(八木沢川)歩道設置工事	須坂市	直	L=8.6m	H18	H18	H18	H18	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3
		一級市道須坂駅旭ヶ丘線歩道設置工事	須坂市	直	L=522m	H20	H20	H20	H20	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
		一級市道高南南原線歩道段差解消工事	須坂市	直	L=480m	H19	H22	H19	H22	90.4	90.4	90.4	0.0	90.4
		一級市道須坂駅南原線歩道段差解消工事	須坂市	直	L=1,029.5m	H18	H19	H18	H19	94.7	94.7	94.7	0.0	94.7
		一級市道八幡南原線交差点改良工事	須坂市	直	L=150m	H19	H25	H19	H22	500.0	245.7	245.7	0.0	245.7
		市道高梨小山線歩道設置工事	須坂市	直	L=20m	H20	H21	H20	H21	9.7	9.7	9.7	0.0	9.7
		市道銀座通り線道路整備工事	須坂市	直	L=493m	H21	H22	H21	H22	144.1	144.1	144.1	0.0	144.1
	街路	(都)3・4・8号臥竜線街路整備事業	須坂市	直	L=210m	H18	H21	H18	H21	238.2	238.2	238.2	0.0	238.2
公園		臥竜公園転落防護柵・多目的広場	須坂市	直	12, 331.89m ²	H18	H18	H18	H18	296.3	296.3	296.3	0.0	296.3
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム	—			—	—									
地域生活基盤施設	—		須坂市	直	—	H18	H22	H18	H22	370.7	370.7	370.7	0.0	370.7
高質空間形成施設	—		須坂市	直	—									
高次都市施設	—			—	—									
既存建物活用事業	—		須坂市	直	—	H18	H20	H18	H20	115.2	115.2	115.2	0.0	115.2
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
パリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
	拠点開発型													
住宅市街地総合整備事業	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,892.6	1,638.3	1,638.3	0.0	1,638.3

…A

提案事業													
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	動物園交流施設	動物園交流施設整備設計・工事	須坂市	直	延床面積74m ²	H18	H18	H18	H18	9.8	9.8	9.8	0.0 9.8
	耐震診断・設計・工事・修繕	市役所本庁舎耐震設計監理・工事	須坂市	直	鉄筋コンクリート3階	H18	H18	H18	H18	151.9	151.9	151.9	0.0 151.9
	市民体育館耐震診断	須坂市	直	鉄骨筋コンクリート2階	H18	H18	H18	H18	4.5	4.5	4.5	0.0 4.5	
	臥竜山公会堂耐震診断	須坂市	直	鉄骨平屋建	H18	H18	H18	H18	2.5	2.5	2.5	0.0 2.5	
	公民館耐震診断	須坂市	直	鉄筋コンクリート3階	H18	H18	H18	H18	3.6	3.6	3.6	0.0 3.6	
	南部地域公民館耐震診断	須坂市	直	鉄筋コンクリート3階	H19	H19	H19	H19	3.4	3.4	3.4	0.0 3.4	
	保健センター耐震診断	須坂市	直	鉄筋コンクリート3階	H21	H21	H21	H21	2.9	2.9	2.9	0.0 2.9	
	耐震設計	須坂小学校校舎耐震設計	須坂市	直	鉄筋コンクリート3階	H18	H18	H18	H18	10.5	10.5	10.5	0.0 10.5
	既存建造物活用	牧勇男邸 老朽箇所除却、(一階)耐震診断・設計監理・工事	須坂市	直	木造二階建	H19	H20	H19	H20	32.2	32.2	32.2	0.0 32.2
	文化施設の改修	文化会館施設・機器改修	須坂市	直		H18	H21	H18	H21	85.7	85.7	85.7	0.0 85.7
事業活用調査		旧上高井郡役所第2期(外構)工事	須坂市	直	A=3,743m ²	H19	H19	H19	H19	9.9	9.9	9.9	0.0 9.9
	—												0.0
	—				—								0.0
まちづくり活動推進事業	—				—								0.0
合計										316.9	316.9	316.9	0.0 316.9
										合計(A+B)			1,955.2

...B

都市再生整備計画の区域

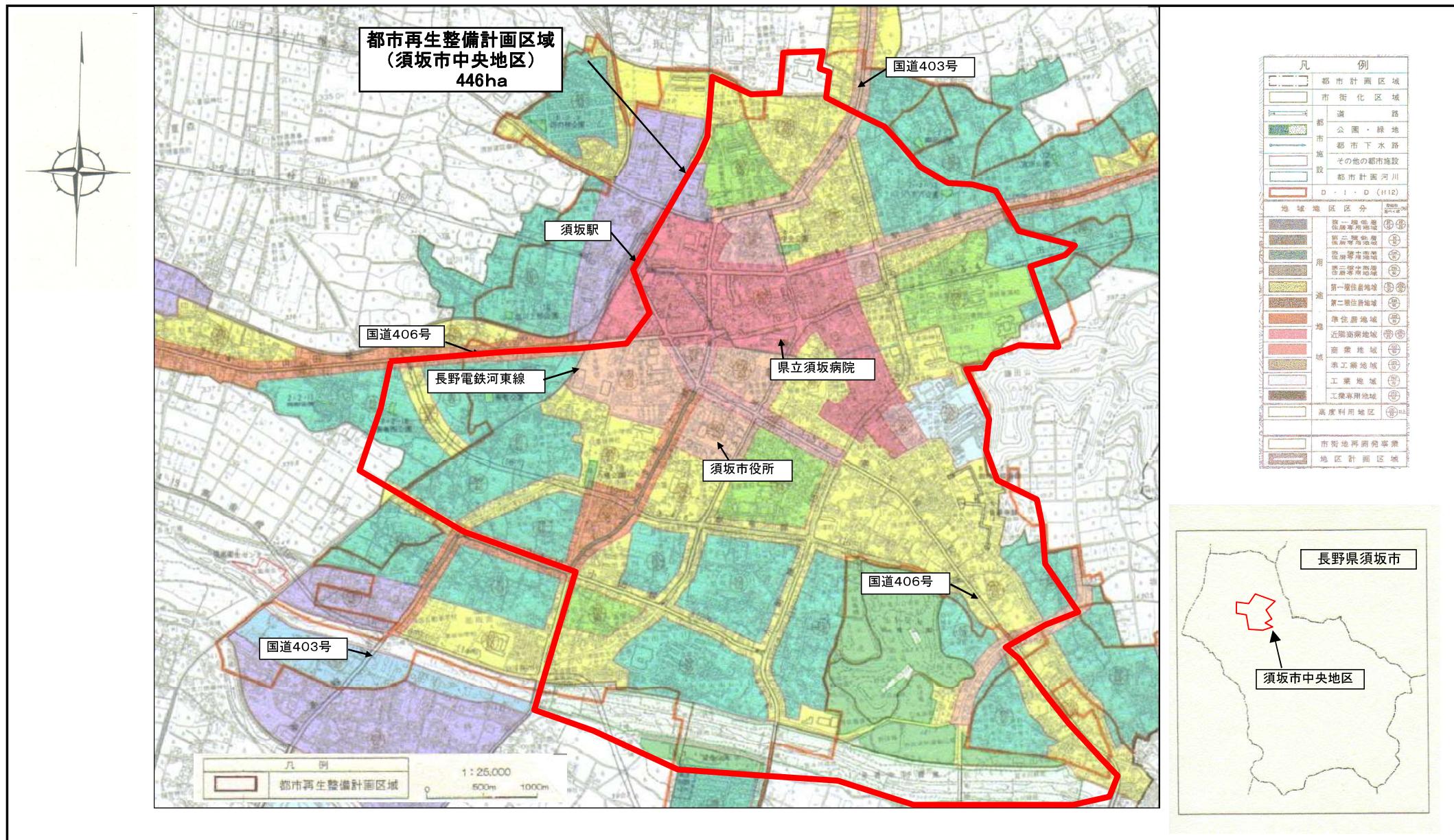
須坂中央地区(長野県須坂市)

面積

446 ha

区域

穂町、上町、本上町、上中町、中町、春木町、太子町、新町、常盤町、横町、東横町、南横町、北横町、立町、馬場町、ハイランド町、南原町、北原町、高橋町、大谷町、八幡町、小山町、屋部町、相森町、塩川町



須坂中央地区(長野県須坂市) 整備方針概要図

